

# 環境問題にも取り組む

機械に生命は宿るのだろうか。してから修理していたのでは

「毎れないのは確か。き 故障を未然に防ぐ予防整備が ちゃんと整備すれば心えてくれ 大切なんです」と田村圭・常 務(32)はいう。小泉社長の長 女と結婚した縁で、畑違いの 女スポーツ用品メーカーから7 年前に転職。各管理部門で修 崎西・小泉吉之助社長(62)と

## いづみ自動車

「予防整備を行くには、得意 先から車両のメンテナンスを 全面的に任せてもらわなけれ ばならない。事業用の特殊車 両は3カ月ごとの点検や車検 を義務付けられているが、こ れを各整備会社がバラバラに 請け負えば、車両の抱えてい る問題が分かりにくくなる。 継続して任されてこそ、車両 の使用方法や走行距離に見合 った整備計画を作ることがで きる。」

タンクローリーの用途は広 い。運ぶのはガソリンなどの 液体燃料、高圧気体や化学薬 品、しょうゆなどの食品と多 種多様。給水・散水やアス フルト散布用車両など機能 も多彩だ。同一車種でさえ 使用企業の注文で改良され、 月間走行距離などの運転・運 用方法も千差万別。当然、 故障しやすい場所も違ってくる。

「用途が特殊で値段も高い から、どの使用企業にも余分 の車両はほとんどない。故障 修理履歴や特記事項が一目で

# 山椒は小粒

中小企業奮戦記

# 24時間、顧客に対応



グリーン経営の普及支援など自動車整備業の新しい展開を目指すいづみ自動車の田村常務

分かるようにしています。営業担当が運用状況を確かめ、変化があれば整備項目も見直します。不意の故障に備えて出張整備車も作りました。24時間体制で修理できないと、お得意さんが困りますか。こうした手法は隣交から紹介された同友会の先輩で「エー・エー」(四街道市)の森孝司社長から学んだ。トラックの契約整備・出張整備で成功している企業だ。

「24時間体制にするには営業・工場を超えた社員の協力、話し合いが不可欠。給料に歩合制を加味して、深夜動も機嫌よくやってもらえらうにしました。この間、森さんには親身に社長業を教えてくださいました」

いま田村常務が新たに取り組んでいるのが、交通運輸業向けの環境認証制度「グリーン経営」の取得支援だ。国土交通省の外郭団体が認証している資格で、すでに大手荷主の一部は取得を入札資格にしている。昨夏は得意先の取得を手伝いノウハウを獲得、秋には別の得意先を支援し、

「運輸業者にとって、環境問題への真剣な取り組みは避けて通れない課題。いまもお得意さん数社の取得を手伝っています。グリーン認証の点検項目を整備に反映させれば、省エネ・コスト削減効果も大きいので好評です」

物流業界の一翼をにない、経済・社会・環境に貢献しようとする次期社長。その姿を、先輩たちが温かく見守っている。

【佐藤仁志】